



城 山

令和5年5月25日発行
妙高市立新井南小学校
学校だより 5月号

自分に負けない子どもたちに

校長 丸山 文雄

5月20日（土）、新井南小学校運動会が、快晴のもとで行われました。新型コロナウイルス感染症の制限が緩和された運動会は4年ぶりになります。多くのご来賓、保護者、地域の皆様からご来場いただき、心から感謝申し上げます。

今年の運動会スローガンは、「南っ子 みんなで目指そう W優勝！」。

開会式では、子どもたちに、「負けない」というメッセージ送りました。相手のチームに「負けない」ということは言うまでもなく、そのために自分自身に「負けない」ことが大切です。「負けない」という「チャレンジ」をやり遂げたとき、勝負の結果にかかわらず「スマイル」になったり、充実感を味わったりできるからです。「勝つと思うな。負けまいと思え。」の格言のとおり、ここに成長の極意があるように感じます。

今年の紅組と白組の応援団長は、自分で応援団長になることを希望し、最後までその役割をしっかりと果たしました。他の南っ子も、運動会に向けた過程を通して、日々、たくましく成長しました。引き続き、一人一人の物語（ストーリー）を大切にした教育活動を展開し、自分に負けない子どもたちを目指します。



子どもたちの学びを支援する方が一名増えました。・・・

新井南小学校の皆様、はじめまして。私の名前は、高橋弘樹（たかはしひろき）と申します。

昨年度は、神奈川県横浜市立瀬谷さくら小学校の教員をしておりました。4月から上越教育大学教職大学院で学び直しをするため新潟県に来ました。妙高型イエナプラン教育「子どもが主語の学校づくり」といった、素敵な学校づくりを進めている新井南小学校に関わるができて、とても嬉しくわくわくしています。どうぞよろしく願いいたします。



※5月から毎週月曜と水曜に訪問されます。

教科書展示会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・

本年度も以下のとおり教科書展示会が行われます。小学校は来年度改訂となる教科書が展示されます。お時間のあるときに、ぜひご覧ください。

- 1 期間 令和5年6月14日（水）～6月27日（火）
- 2 会場 わくわくランドあらい 2階会議室
- 3 時間 10:00～17:00 ※月曜休館日

6月の予定表・・・・・・・・・・・・・・・・

日(曜)	予 定
1日(木)	クラブ①
5日(月)	縦割り班遊び、色覚検査
7日(水)	耳鼻科検診
9日(金)	スクールカウンセラー来校日
12日(月)	口座振替日、みなみっこ学習
13日(火)	体カテスト
14日(水)	全校下校 15:00
15日(木)	避難訓練(不審者対応)、クラブ② 尿検査2次
21日(水)	JRC 救急法講習会
22日(木)	歯科検診、委員会④
26日(月)	サザンスター
28日(水)	親子学校保健委員会(5年)
30日(金)	勉強がんばろう週間、 全校下校 15:00

今月のスナップ其の一・・・



5月20日（日）運動会
温かいご声援
ありがとうございました。



学校全体に係る質問についてお答えします。

Q : 現在、小規模特認校制度を利用して校区外から新井南小学校に通学しています。妙高中学校に進学することはできますか。

A : 可能です。小規模特認校（新井南小学校）を卒業した児童が、引き続き同じ校区の中学校（妙高中学校）への就学を希望する場合は、学校へお申し出ください。申請に必要な申請書をお渡しします。
※校区外就学許可基準については、QRコード参照。



Q : 妙高型イエナプラン教育では、三つの学年が、それぞれの学習をしています。先生は、分かっていない子がいることを把握できているのか不安です。聞ける子はいいが、聞けない子もいるのではないのでしょうか。学習のやり残しは無いのでしょうか。

A : 子どもたち一人一人の学びのペースに合わせて、自由進度学習を進めています。複数の職員目で子ども一人一人の学習状況を確認するとともに、子どもたちを集めて進捗状況を確認したり、分かりにくいところを全員で学んだりしています。お子さんの学びに関してご心配な点がありましたら、何なりと担任までご相談ください。

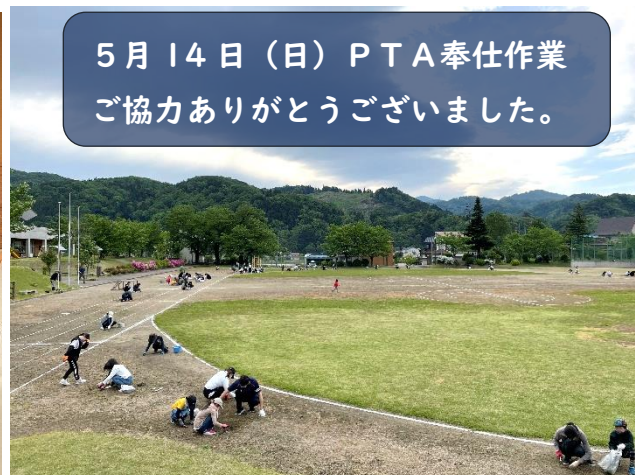


今月のスナップ其の二



5月1日（木）学校運営協議会

学校経営方針が承認されました。



5月14日（日）PTA奉仕作業
ご協力ありがとうございました。



5月2日（土）大滝荘へ遠足
幻の大滝や大滝荘周辺で自然を満喫しました。



◆妙高型イエナプラン教育（移行期）の軌跡 其の一◆

5月12日（金）、妙高高原小学校のみなさんが、学校視察に来校。

イエナプラン教育のよさを取り入れた取組を行うために、子どもたちの様子を参観した後に、当校の取組の趣旨等について、対話を通して学ばれました。

その際、参加した先生から**評価**について質問がありました。職員にとって、視察の受入は準備等で何かと大変ですが、参観者から新たな気づきや学びを得ることができます。



そこで、評価について考えてみました。一般的に、評価の機能は次の4点です。

- 1 子どもの学習状況を見取り、指導・支援をより充実すること【指導と評価の一体化】
- 2 評価結果を子どもや保護者、地域に説明しなければならないこと【説明責任】
- 3 学び手が自身の学びの状態を把握し、次の学びにつなげること【自己教育力の育成】
- 4 教育課程の編成・実施や学校の組織体制の改善に資すること【カリキュラム改善】

1と2については、ある程度実施されてきました。妙高型イエナプラン教育が目指す学習者（子ども）主体の取組にするためには、3と4について改善の余地があります。全ての土台は、「教師の見取り」にです。仮に、期待していた子どもの姿が見取れない場合、その原因は子どもにではなく、教師にあるということを肝に銘じて取り組みます。

5月18日（木）、茨城県石岡市立東小学校の5名のみなさん（内1名は教育委員さん）が学校視察に来校。※東小学校HPは、QRコード参照。

朝5時半に現地を出発し、片道5時間以上かけて来校されるなど、その熱量の高さに驚かされました。視察後の感想を以下に紹介します。



5時間目に2年生を参観したとき、算数で苦戦している男の子が向かいに座っている国語をやっている女の子に相談してアドバイスをもらっている姿が印象的でした。教科をまったく違っても、違う内容でも協働的に学ぶことに気付かされました。先生方の穏やかな姿に学ぶことが多くありました。

複数クラスを合同で見ることによって、先生たちが分散して見ることができるようになること、上級生や先に進んでいる子どもたちが助け合いながら、答えを見せるだけでなく、「わかる」というところに達すること、競争して一番になるためではなく、協力して全体のハッピーを考えられるようになる。これが民主主義のスタート地点であると感じました。自分の立ち位置から、できることをやって参ります。